



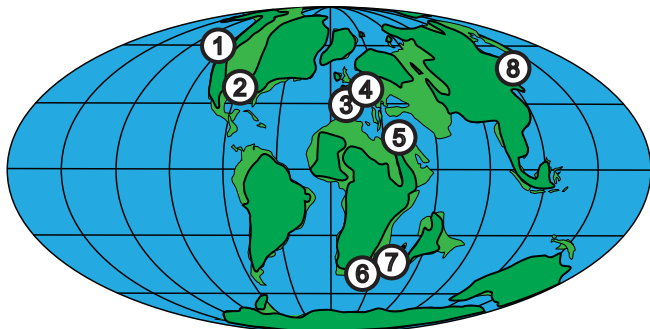
アンモナイト アマポンデラ
北西太平洋地域から初めての発見

2022 年 10 月の研究論文で報告



じょうせつてんじ
常設展示室のアマポンデラ

伊豆倉正隆氏（札幌市、当館ボランティア）と故・窪田英氏（札幌市）が浦河町と平取町、日高町で発見したアンモナイトが、ヨーロッパなどで知られていたアンモナイトのアマポンデラ・アマポンデンセ（*Amapondella amapondense*）であることが明らかになりました。重田康成博士（国立科学博物館 地学研究部 環境変動史研究グループ グループ長）・伊豆倉氏によって2022年10月に日本古生物学会欧文誌で報告され、それらの化石資料が当館に寄贈されました。



カンパニアン期	後期								8,020 万年前
	中期							⑧	
	前期						⑥	⑦	
サントニアン期		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	8,360 万年前
									8,960 万年前

フリテイッシュ・コロンビア
ミシシッピー
フランス
オーストリア
イスラエル
南アフリカ
マダガスカル
北海道

アマポンデラの分布域^{へんせん}変遷。⑧が今回の発見。

アマポンデラは異常巻きアンモナイトノ
ストセラス科の一種類で、巻きが密で、わ
ずかに立体螺旋状に巻き、低い塔状の形を
しています。この種類は、後期白亜紀のサ
ントニアン期（8,960 万～8,360 万年前）に
はヨーロッパ、北米、南アフリカに分布し
ていましたが、その後のカンパニアン期に
なると南アフリカやマダガスカルに分布域
が縮小します。今回、北海道から発見され
たのは、それらよりもさらに新しい時代の
カンパニアン期中期（約 8,020 万年前）で、
この種類の最後の生き残りと考えられま
す。

2023 年度 むかわ町子ども化石くらぶ



活動目標：化石を楽しく科学して、将来の古生物学者への道をめざす

対象（募集人数）：2023 年度の新小学 5・6 年生 20 名、3・4 年生 20 名。（入会時作文審査あり）

活動内容：野外での化石採集や化石クリーニング。むかわ町穂別博物館の学芸員や大学などの専門家による学習会など。

活動場所：むかわ町穂別博物館を中心とした町内一円

費用：年間 4,000 円

日程：全 7 回【5/14：ガイダンスなど、6/4・7/9・9/2（5・6 年生）・9/3（3・4 年生）：化石採集&化石クリーニング、10/22：外部講師による実習・講演、11/26：学芸

員による実習など、2024 年 2/25：ポスター発表会と修了式。

注釈のない日程は、5・6 年生クラスが午前、3・4 年生クラスが午後開催】

申込・応募：申込用紙と作文「化石くらぶでやりたいこととその理由（所定の下稿用紙 1 枚）」を提出

申込期限：3 月 1 日（木）必着

申込用紙など：www.town.mukawa.lg.jp/3785.htm

問合せ先・申込み先：むかわ町役場 経済恐竜ワールド戦略室

☎ (0145)45-2118、FAX(0145)45-3048、

E メール kyoryuworl@town.mukawa.lg.jp



さっぽろ雪まつりにむかわ町ブース

2 月 4 日～11 日のティラノサウルス&カムイサウルス大雪像前^{せつぞう}にむかわ町特設ブース（物販など）が設置されます（各日 11：00～20：00）。
^{とくせつ} ^{ぶっばん} ^{せっち}

2022 年の調査研究などでの来館者（2/2）



左から 2 番目；ルグラン・ジュリアン助教（静岡大学）ほか【9/7-8】^{かふん}花粉化石調査のため、野外調査を行いました。



左：佐藤たまき教授（神奈川大学）、^{たつや}新村龍也学芸員（足寄動物化石博物館）^{あしよろ}【9/9-11】^{クビナガリュウ}首の短い首長竜の研究を進めました。



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30～17:00
（最終入館 16:30）

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10 名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2023 年 2 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

■ 休館日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、館内を頻繁に換気しています。そのため、館内が低温になっています。低温対策をしたうえで、ご来館ください。